

平成 28 年度 公益社団法人日本放射線技術学会 (JSRT)

中国・四国支部夏季学術大会 海外招聘講演 報告書

鳥取大学医学部附属病院 放射線部

(JSRT 中国・四国支部国際推進委員)

山下 栄二郎

今回、国際化事業の一環として、中国・四国支部事業としては初の試みである海外招聘講演会を、大韓民国のソウルアサンメディカルセンター (AMC) のチームリーダーである Seo Dae Keon 先生をお招きし、開催した。

この AMC と私の関わりは、AMC のインターナショナル部門が提供しているスカラーシップを利用して、2014 年に 2 ヶ月間研修を行ったことに端を発している。私は、専門領域である MRI を希望し、配属された MRI 部門の当時のユニットマネージャーが Seo Dae Keon 先生であった。また、先生は同時に韓国 MR 技術学会 (KSMRT) の会長の任期中でもあった。そのため、先生は、私に研修当初から次の KSMRT に、演題登録することを提案されていた。そして、私は、2014 年度の KSMRT において過去おこなった研究と JSRT について発表をさせて頂いた。このような背景から、今回の学術大会へ Seo Dae Keon 先生の招聘に至った。

また、今回は、Seo Dae Keon 先生の他に後任の KSMRT 現会長および AMC のスタッフ 1 名と共に来日した。以下に 3 人の所属を記す。

・ Seo Dae Keon

Asan medical center / チームリーダー / KSMRT 前会長

・ Lee Yong Dae

Sangkebaek hospital / チームリーダー / KSMRT 会長

・ Cha Hyeng Jeong

Asan medical center / 前 US ユニットマネージャー



photo 1 Lee 先生 (左), Seo 先生 (中央), Cha 先生 (右)

Seo Dae Keon 先生の講演は、AMC の紹介から始まった。AMC は、ヒュンダイの基金より設立され、今では、韓国で最大規模を誇る医療施設となり、放射線技師数も 200 人を超え、MRI も 13 台が稼働しているという。また、救急以外にも数台の MRI は 24 時間オーダーリングシステムを使用した診療を行なっているそうである。



photo 2 Seo 先生を紹介する筆者

次に、韓国の学会および今年ソウルで開催される世界放射線技師学術大会の紹介がなされ、韓国でも技師認定制度が進められ

ているようであった。また、国際交流については、韓国でも推進し、近隣諸国との交流を望んでいるようであったが、日本ほど加速していないように感じた。

最後に、自身の専門領域である最新のMRIの知見について述べられた。分子イメージのひとつのCESTイメージングについて、有用な症例を示しながら、理論についても説明された。CESTイメージングは、日本国内でも数施設しか試みられていなく、さらに、供覧した画像のクオリティは、支部MR研究会の懇親会でも話題になるほど高いものであった。あらためてAMCの研究や技術が進んでいることが推察された。

講演は、すべて英語で行われ、大変丁寧でゆっくりとしたスピーチであったため、聴講者にとっては内容の理解が容易であったと思う。

特別講演の終了後は、Cha Hyeng Jeong先生の日本語による通訳を交え、Lee Yong Dae会長から挨拶と上田支部長に記念品の贈呈が行われた。記念品は、鴨つがいの置物で、韓国では末永い友好の象徴とされているそうである。



photo 3 韓国の方から友好の象徴を贈呈された上田支部長

本講演に際し、企画を支援いただいた上田支部長、岩永理事をはじめとする事務局

の先生方、並びに、運営にご尽力くださいました隅田副支部長・小濱副支部長をはじめとする広島の先生方に感謝いたします。また、不慣れな私に司会の機会を与えてくださったプログラム委員の先生方に深く感謝いたします。この他にも多くの理事・役員の方のご支援により、両学会の友好関係が築けたことと共に、無事に講演会が終了したことを報告する。



photo 4 韓国の方と楽しく盛り上がった懇親会



photo 5 懇親会後に韓国の方とMR研究会世話人との交流

参加者数（7月2日登録者）：259名

以上